

常山隄及び常山隄碑

FI/Tr



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県埴科郡坂城町坂城
緯度・経度：北緯 36 度 27 分 27.0 秒
東経 138 度 11 分 1.2 秒
伝承形式：石碑・石塔・石仏
種類 / 要因：洪水・湛水 / 集中豪雨
災害発生：1841 年(天保 12 年)5 月
建立時期：1845 年(弘化 2 年)
指定等：坂城町指定文化財(史跡) 昭和 48 年
周辺地形：谷底平野・河川



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

この堤防は、巨石を用いた堅牢な工法が採用され、洪水を直角に受けて流路を変えることが大きな特徴です。長さ 300m の堤防の完成には 5 年を要し、江戸から派遣された技術者佐藤嘉長はこの堤を常山隄(じょうざんてい)と名付けました。

周辺案内

常山隄が隣接する千曲川堤防道路は、さかき千曲川バラ公園へのアクセスもよく、毎年 5 月下旬から 6 月上旬にかけて開催される「ばら祭り」とあわせて見学することができます。付近の川原には、初夏になると「つけぼ小屋」が建てられ、アユやウグイ(ハヤ)といった川魚料理が楽しめます。